

社会（広域外部サポーター）と協働で行う教育活動

地域協働による探究学習

■ 探究活動（中学）

地域のことを知り、地域の課題について考え、地域に解決策を提案することを目的として中学3年間で取り組んでいます。

① 南河内探究（中学1年）

5つの分野に関連する企業・団体による講義により探究を進めるきっかけとします。
南河内の産業、都市政策、企業のCSR活動などについて学びます。

② 社会探究（中学2年）

テーマを設定し、それを解決するために、連携企業および団体を訪問し、聞き取り調査を行いながら、体験に基づく探究を深めます。

③ 提案型社会探究（中学3年）

連携企業および団体と共通のテーマに基づき探究を進め、解決策を提案し、成果を発表します。

■ 富中サイエンス（中学）

科学の専門家による授業です。生徒の科学への興味関心を引き出すとともに、研究に関する高い志を抱く機会とします。

■ 課題解決型探究（高校）

課題発見解決能力育成のため探究Ⅰ（高校1年）・Ⅱ（高校2年）の探究活動を実施しています。活動の中では大学等の研究所を訪問し、最先端の研究を体験することで、科学技術への関心を高めることや、宿泊研修では国内及び海外でフィールドワークを行う体験重視の先進的な科学教育を実践しています。

《実施例》

みらい講座（高校）

大学の専門知識を持った大学教員や大学院生の研究テーマに関わる講義。専門的な内容への興味関心が高まり、課題研究の実験内容に関する指導助言を受けることにより課題研究の深化をめざします。生徒にとって最新の研究内容の講義を聞くことで理数科目の授業への取り組みが積極的になり、自身の進路選択についての意識向上を期待しています。（中学も受講可能）



演劇活動

■ 演劇的手法を用いたコミュニケーション力の育成（中学）

プロの劇団と連携し、寸劇を作成し演じることで基礎的なコミュニケーション力を育成しています。

地域協働（学生・地域人材等）によるサポート事業

■ 富中未来塾（中学）

火曜日の放課後に、大学生や地域人材等により生徒の自学自習をサポートします。（学習支援）

■ 部活動支援

大学生や地域人材等により生徒の部活動をサポートします。



地域学校協働活動の例

世界規模の課題解決型探究学習

- グローバルリーダー育成海外研修（中学・高校）
海外において多様性を理解し、課題に対して論理的に考え、解決する力を養うとともに、国際社会に貢献できる人材になるためのコミュニケーション力、プレゼンテーション力を育成します。

（中学：マレーシア、高校：アメリカ）



未来に挑戦する地域協働活動事業

- トップランナー講演（中学）
卒業生などを中心とした国際社会で活躍されている講師（ロールモデル）による講演会。世界を知り、自分の将来について考えとともに社会貢献意識の育成を図ります。
- まなそだスカラシップ（中学・高校）
地域学校協働本部「NPO 学びと育ち南河内ネットワーク」による奨学金制度。海外大学をめざしたい生徒や探究を深化させたい生徒を支援します。

地域学校協働活動の集大成として

■ まちと学校の未来フォーラム（とんこう地域フォーラム）（中学・高校）

地域貢献活動の一環として毎年3月に開催します。連携企業・団体などのブース形式による発表や体験イベントをはじめ、本校生徒や地域の中学生、大学院生などによるポスターセッションを行います。地域協働をテーマにしたパネルディスカッションも行います。平成30年度は連携企業・団体22団体にご参加いただきました（令和元年度は28団体が参加予定）。全国への情報発信（HP、報道機関等）を積極的に行っています。



「令和元年度予定」

テーマ「SDGsを地域から」

内容

（1）ポスターセッションと地域交流イベント

○ポスターセッション

内容：富田林中学・高校生徒、小学生～大学院生による研究発表
参加団体：京都大学、大阪教育大学、大阪府立大学、大阪芸術大学等

○地域交流イベント

内容：地域の諸団体によるブース形式での活動紹介および研究発表・交流会
参加団体：企業、自治体、医療機関、NPO等

（2）生徒発表・基調講演

生徒発表：優秀研究プレゼンテーション、
グローバルリーダー育成海外研修報告

基調講演：「地域で取り組むSDGs」

～私たちの学びと社会をつなぐには～

（3）パネルディスカッション：

テーマ：「地域で取り組むSDGs、学びと社会をつなぐには」

パネリスト：大学教授、企業代表、地域学校協働本部代表、
校長、中・高生徒会代表

